

神戸新聞文芸

名前

① 神戸新聞文芸に掲載された8つの詩の中で、最も気に入った詩はどれですか？詩の題を書きましよう。

② なぜ、その詩が気に入りましたか。理由を書きましよう。

③ あなたも父母とのかかわりについて詩を書いてみましょう。

詩 安水 稔和 選

特選

「節」 姫路市 三木 彰子
 母はひとりて 藪に行き
 母はひとりて 節掘り
 母はひとりて それを茹で
 母は笑顔で 電話する
 「節あるから 取りにきて」
 姉と私は 何年も
 掘りたて茹でたて 節を
 何も思わず 食べていた
 感謝もせずに 食べていた
 母が「くなり それからは
 姉といっしょに 藪に行く
 節掘りに 藪に行く
 母の笑顔に 会いに行く」
 入選
 「きんかん」 淡路 中來由朝子
 裏庭に母の種えた
 きんかんの木がある
 数年が過ぎ
 今年はたきん実がなった
 お正月みんな
 わいわい言いながら
 きんかんの実を食べた
 この実太過ぎない？
 きんかんてこんな味？
 お母さんなんできんかんの木
 植えたのかなあ…等々
 きんかんで盛り上った一日でした
 「母も今日ほきつと
 楽しかった事でしょう
 「ありがたいなあ」
 加古川 柳本千代子
 半熟玉子のサンドイッチを
 「口食べ」
 「おいしいね」
 「ありがたいなあ」
 ミルク紅茶を

「アフリと飲んで
「あーおいしい」
「ありがたいなあ」

柔らかい干し柿を
ぐにぐにと噛んで
「甘い 甘いね」
「ありがたいなあ」

今日の母は
「ありがたい」
「ありがたい」を
連発しています

「命の日」 姫路 中島 友子
 今日母の誕生日
 生きておれば101歳
 死んだ子の歳を数えるように
 私は、また
 死んだ母の歳を数えている

「救い」 たつの 七葉 章子
 うつがひがかったとき
 「ゆづり」
 お母さん死んでもいい？
 なんて聞いてしまった

乱舞

丹波市 尾花 敦美



(第48回兵庫県写真作家協会公募展 奨励賞)

「だめそんなな」言っちゃ
あたしが困るでしょ」
ゆづりに涙をいっばいためて
私の頭をなでくれた

ゆづりの言葉が
ゆづりの存在が
私をこの世にたぎとめてくれている

私はいじも
ゆづりに救われてばかりいる
「あなたの笑顔に」
姫路 岩本 太

鼻は胡座かいていて
目はハチリとしていなく
どちらか言えば…

それでも独特の信念と感覚で
人を愛し自然を愛し
広い額に汗して働く姿は
とても魅力的でした
そして喜ぶの表現がいいのです
例えば、スーパード見つけた
ちよつとした無花果でも
心からの笑顔で…
美人にさえ見えました
世間を敵が貧しい時代に
酒に呑まれる弱い父を支え
私が

人生に疲れ切るほど落ち込んだ時も
慈愛に満ちた目に微笑みを湛え
見守ってくれたから
自分なりの責任を持って
歩こうが出来ています
これからも
あなたの笑顔に恥じないように
生きて行きます

「束の間」 神戸 足達 三好
私達に夢を見させるのは
束の間という僅かの時間

地球の歴史から見れば
私達の一生もまた束の間
その束の間に
私達は長い長い旅をする

「花」 姫路 荒木タミ代
 花は
 花が咲いた時が
 一番幸せな時だろう
 その幸せを
 花を見る人にも
 分け与えてくれる

「評」 「節」の、母の笑顔に会いに行く。「きんかん」の、楽しかったことでしょう。ともに「き母への思い、じわりと。」「ありがたいなあ」の、ありがたいを連発する母。「命の日」の、生きておれば101歳。数えることで母がよみがえる。「救い」の、ゆづりが頭をなでくれた。愛しい母子像。「あなたの笑顔に、あなたの笑顔に恥じないように。」亡き母讃歌。「束の間」の、束の間の長い長い旅。最後に、「花」をどうぞ。

NIEワークシート／中学生～高校生／国語、総合、朝NIE